

かほだより

アカバネ病の流行にご注意を!

令和元年度の抗体保有状況調査で、県内農場でアカバネ病ウイルスの抗体価の上昇が確認されました。

また、隣接県においても複数の農場で本病抗体価の上昇が確認されており、アカバネ病の流行が危惧されます。

【アカバネ病とは?】

妊娠牛にアカバネ病ウイルスが感染し、異常産を起こす病気です。感染は、蚊やヌカ蚊が発生する初夏から晩秋にかけて起こり、6月から11月が主な感染時期となります。



ウイルスが感染した妊娠牛は、流産のほか奇形（関節わん曲、内水頭症、体型異常など）子牛を分娩します。流産は夏頃から、奇形子牛の分娩は晩秋から翌春にかけて起こります。

また、近年子牛が生後感染し、運動失調や起立困難などを発症する事例が報告されています。

吸血昆虫が活動を始める前、5月上旬頃までにアカバネ病ワクチンを接種しましょう。詳細は担当の獣医師にご相談ください。

・令和2年度中信衛指協価格：1,700円/頭（税込）



ONE NAGANO

みんなでひとつに がんぼろう信州
Working together to support one another

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS